



〔拡大版〕

元気いっぱい快走 —志賀保・マラソン大会—

2月19日(木)、志賀保育所(松原千代子所長)においてマラソン大会が開催され、3歳～5歳の園児ら82人が園庭や歩道を元気いっぱい快走しました。

3歳園児は保育所入り口を出て歩道を走り、武道館脇から園庭に戻るコース、4歳園児は園庭を1周したあと歩道を走るコース、5歳園児は園庭を1周したあと、歩道を2周するコースを、それぞれ走りました。

保育所前には保護者や近隣の住民らも駆け付け、「がんばれー」と声援を送りました。

入賞した園児らは「寒かったけど楽しかったです」「お母さんに応援してもらったので頑張れました」と話していました。



練習の成果を発揮 —比井保・なわとび大会—

2月27日(金)、比井保育所(西本康子所長)においてなわとび大会が行われ、年長園児ら8人が日頃の練習の成果を発揮し、上手ななわとびを披露しました。

園児らは少し練習したあと、それぞれ3回ずつなわとびに挑戦。回数を数える先生の声に合わせて、元気に跳びました。跳び終わると、先生からそれぞれに、跳べた回数が入った手作りのメダルが贈られ、みんなでカメラに向かってポーズ。卒園前の楽しい思い出づくりになりました。

なわとびを85回跳んだ山本彩世さんは「いっぱい飛べてうれしかったです」と楽しそうに話していました。

荊木Aチームが優勝

—第60回日高町老人ゲートボール大会—

2月16日(月)、萩原住民公園において第60回日高町老人ゲートボール大会が、全8チームの参加を得て開催されました。

選手宣誓のあと、参加者らは2つのコートに分かれて競技を開始。大会は正午を跨いで行われ、それぞれのコートで熱戦が展開されました。

試合はリーグ戦で行われ、午後3時頃には全ての試合が終了。その結果、唯一勝利数3を挙げ、全チーム中トップとなる総得点50点を獲得した荊木Aチームが、見事優勝を飾りました。



優勝した、
荊木Aチーム



お客さんで大賑わい

—チャリティバザー—

3月1日(日)、農村環境改善センターにおいて、日高町社会福祉協議会(寺井陽子会長)主催のチャリティバザーが開催され、多くのお客さんで賑わいました。

あいにくの天候にもかかわらず、多くのお客さんが来場。バザーが始まると、それぞれ100円や200円などの値札が付けられた商品のもとに足早に向かって、買い求めていました。

バザーは開場からおよそ30分で、日用品がほぼ完売になるほどの大盛況。レジには多くの商品を持ったお客さんで長蛇の列が出来ていました。

来場されたお客さんは「普段より安い値段でたくさん買って良かったです」と話されていました。

チャリティバザーへのご協力、 ありがとうございました！

去る3月1日(日)に開催したチャリティバザーにおきましては、何かとご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、みなさまより贈られた物品の総数は3,370点となり、総売上金は49万4千250円となりました。

この売上金は、町内のひとり暮らし老人の防火対策等に使用させていただきます。



ご協力ありがとうございました。

日高町社会福祉協議会